

## 人事委員会議事録（第1634回）

### 1 開催日時

令和2年6月11日（木）14：40～15：15

### 2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

### 3 会議に出席した者

委員	松田直人	委員長
	鈴木尉久	委員
	長尾真	委員
事務局職員	西村嘉浩	事務局長
	森本剛史	任用課長
	古川卓哉	給与課長
	岡野揮代美	任用課副課長兼総務審査班長
	小倉豊道	給与課副課長

## 開 会

### 第1号議案

#### 議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第1633回）について、審議の結果、原案どおり承認した。

### 第2号議案

#### 人事委員会議事規則の一部を改正する規則制定の件

任用課長が、標記規則の改正内容等を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

### 第3号議案

#### 行政B（高卒程度）採用試験（令和2年度）実施要綱決定の件

任用課長が、標記要綱（案）を説明し、新規高等学校卒業者の選考開始期日に変更された場合には試験日程の変更を改めて協議することを条件に、原案どおり決定した。

（委員からの質問）

民間企業に就職する高校生の場合、就職担当教員の指導で就職先を決定することが多いと思うが、県職員の受験も同様か。

（事務局）

県職員採用試験でも就職担当教員に相談するのは同じで、受験申込書の書き方の指導を受けたり、学校のパソコンで受験申込みをすることもある。

（委員からの質問）

おおよその申込人数は把握できないか。

(事務局)

行政B試験の場合、例年申込者数が大きく増減することはない。

## 報告事項1

### 兵庫県職員行政Bガイダンス（令和2年度）の実施

任用課長が、8月7日（金）に開催予定の標記ガイダンスの内容等を説明した。

(委員からの質問)

ガイダンスをPRする学校は決まっているのか。

(事務局)

県内すべての高校、短大に試験案内と一緒にチラシを配布している。

(委員からの質問)

ガイダンス参加者の合格者数はあまり多くないのでは。

(事務局)

昨年度は参加者の約8割が受験しており、開催する意義は大きいと考えている。

(委員からの質問)

日程を8月7日としているのは。

(事務局)

例年、もう少し早い時期に開催しているが、今年度は、新型コロナウイルスの影響により県立高校が夏休み期間を短縮しているため、その期間内で設定した。

## 報告事項2

### 知事・行政委員会委員等の損害賠償責任の一部免責の件

任用課長が、標記賠償責任の一部免責について内容等を説明した。

(委員からの質問)

住民訴訟制度等を巡る見直しの中で、「内部統制体制」の対応状況はどうなっているか。

(事務局)

本県では、今年度から制度化され、財務に関してリスクの高い事務を洗い出し、対応策を講じることで、適正な事務の管理及び執行を確保することとしている。

(委員からの質問)

損害賠償責任を「免れさせる」のは誰かが意思表示するのか。条例の規定により、免責が自動的に適用されるのか。また、この制度では住民訴訟自体を防ぐことはできないのではないか。

(事務局)

県において、善意でかつ重大な過失がないかの判断は必要であるが、基本的には自動的に適用される。住民訴訟が提起された場合は、負担の上限が定められている旨を裁判所に主張することができる。

### 報告事項3

#### 任命権者が行った処分

任用課長が、警察本部長及び教育委員会が行った8件の懲戒処分の内容及び理由を説明した。

(委員からの質問)

過去に体罰で処分を受けた教員が、繰り返し処分を受けているのは気がかりである。

(事務局)

体罰で処分を受けた教員に対し、任命権者において体罰防止研修を実施しているが、再度処分を受ける教員が一定、見受けられる。任命権者には機会あるごとに、研修の充実を求めている。

(委員からの質問)

体罰を受けた児童生徒の状況によって、処分程度を重くすることはあるのか。

(事務局)

特別な支援を要する児童生徒に対して行った場合には、処分を加重している。

(委員からの質問)

減給の懲戒処分は、減額する給料の額よりも、制裁を行うことで学校の信頼回復を図る意味の方が大きい、ということか。

(事務局)

そのとおりである。

閉 会